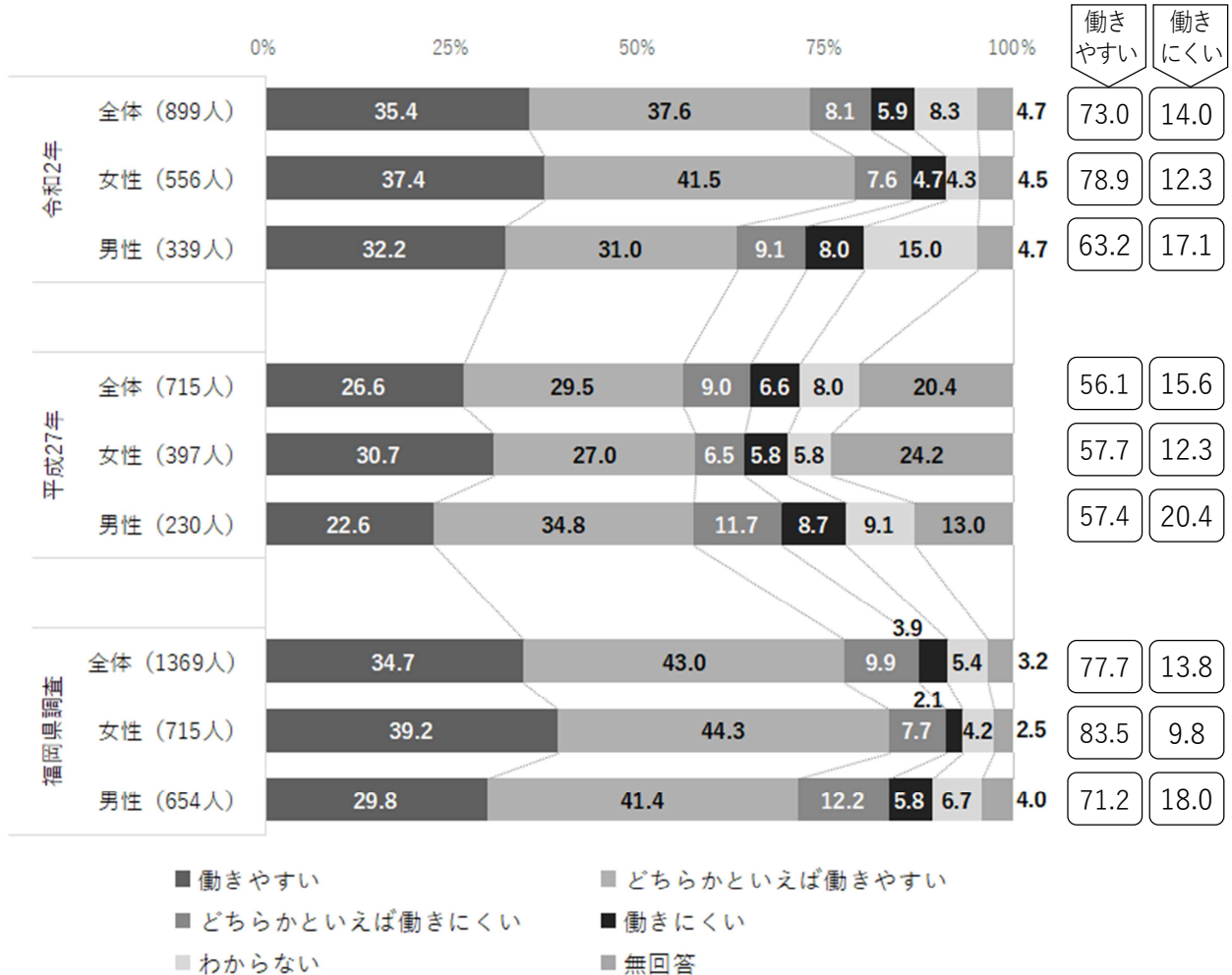


4 女性の職場環境について

(1) 職場での女性の働きやすさについて

問4 (現在職業をもっている方におたずねします) あなたの職場は、女性にとって働きやすいと思いますか。

図Ⅱ-4-1 職場での女性の働きやすさについて[全体、性別] (前回調査、県調査比較)



現在職業をもっている人に、職場が女性にとって働きやすいかどうかたずねたところ、「どちらかといえば働きやすい」が37.6%と最も高く、「働きやすい」35.4%と合わせた『働きやすい』の割合は73.0%だった。一方、「どちらかといえば働きにくい」「働きにくい」を合わせた『働きにくい』は14.0%だった。

性別にみると、『働きやすい』は女性が78.9%、男性が63.2%と15.7ポイントの開きがあり、男女間で認識の違いがみられる。

前回調査と比較すると、『働きやすい』が全体で16.9ポイント、女性では21.2ポイント増加している。しかし、前回調査では「無回答」の割合が高かったことを考慮に入れる必要がある。

福岡県調査と比較すると、『働きやすい』は男女とも八女市の方が低くなっている。

職業別にみると、自営業では『働きやすい』が55.2%で、全体より低くなっている。一方で『働

きにくい』は19.1%で全体よりも高く、自営業では女性が比較的働きにくい環境にあることがうかがえる。

表Ⅱ-4-1 職場での女性の働きやすさについて[全体、性別、年齢別、職業別]

		標本数	問4 職場での女性の働きやすさについて					
			働きやすい	どちらかやすい	どちらかにくい	働きにくい	わからない	無回答
全 体		899	35.4	37.6	8.1	5.9	8.3	4.7
性・年齢別	女性：全 体	556	37.4	41.5	7.6	4.7	4.3	4.5
	女性：20 歳代	91	37.4	45.1	7.7	4.4	3.3	2.2
	女性：30 歳代	111	47.7	32.4	8.1	6.3	4.5	0.9
	女性：40 歳代	115	30.4	49.6	7.8	3.5	8.7	0.0
	女性：50 歳代	124	33.9	43.5	8.9	4.8	2.4	6.5
	女性：60 歳代	89	38.2	41.6	4.5	3.4	2.2	10.1
	女性：70歳以上	25	40.0	20.0	8.0	8.0	4.0	20.0
	男性：全 体	339	32.2	31.0	9.1	8.0	15.0	4.7
	男性：20 歳代	50	30.0	30.0	10.0	10.0	20.0	0.0
	男性：30 歳代	56	28.6	30.4	7.1	14.3	16.1	3.6
	男性：40 歳代	61	39.3	23.0	18.0	4.9	13.1	1.6
	男性：50 歳代	75	38.7	36.0	6.7	6.7	8.0	4.0
	男性：60 歳代	74	28.4	32.4	5.4	8.1	16.2	9.5
男性：70歳以上	23	17.4	34.8	8.7	0.0	26.1	13.0	
不 明		4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
職業別	会社等の従業員	305	32.8	43.6	9.5	7.2	5.6	1.3
	公務員	66	51.5	39.4	6.1	1.5	1.5	0.0
	自営業	241	28.2	27.0	10.8	8.3	13.3	12.4
	家事専業	0	-	-	-	-	-	-
	パート・派遣等	192	43.8	38.5	4.7	2.1	8.9	2.1
	学 生	0	-	-	-	-	-	-
	無 職	0	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	95	33.7	42.1	5.3	6.3	8.4	4.2
	不 明	0	-	-	-	-	-	-

(2) 女性が働きにくい理由について

問5 (問4で「3. どちらかといえば働きにくい」「4. 働きにくい」と答えた方におたずねします) どんな点が女性にとって働きにくいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

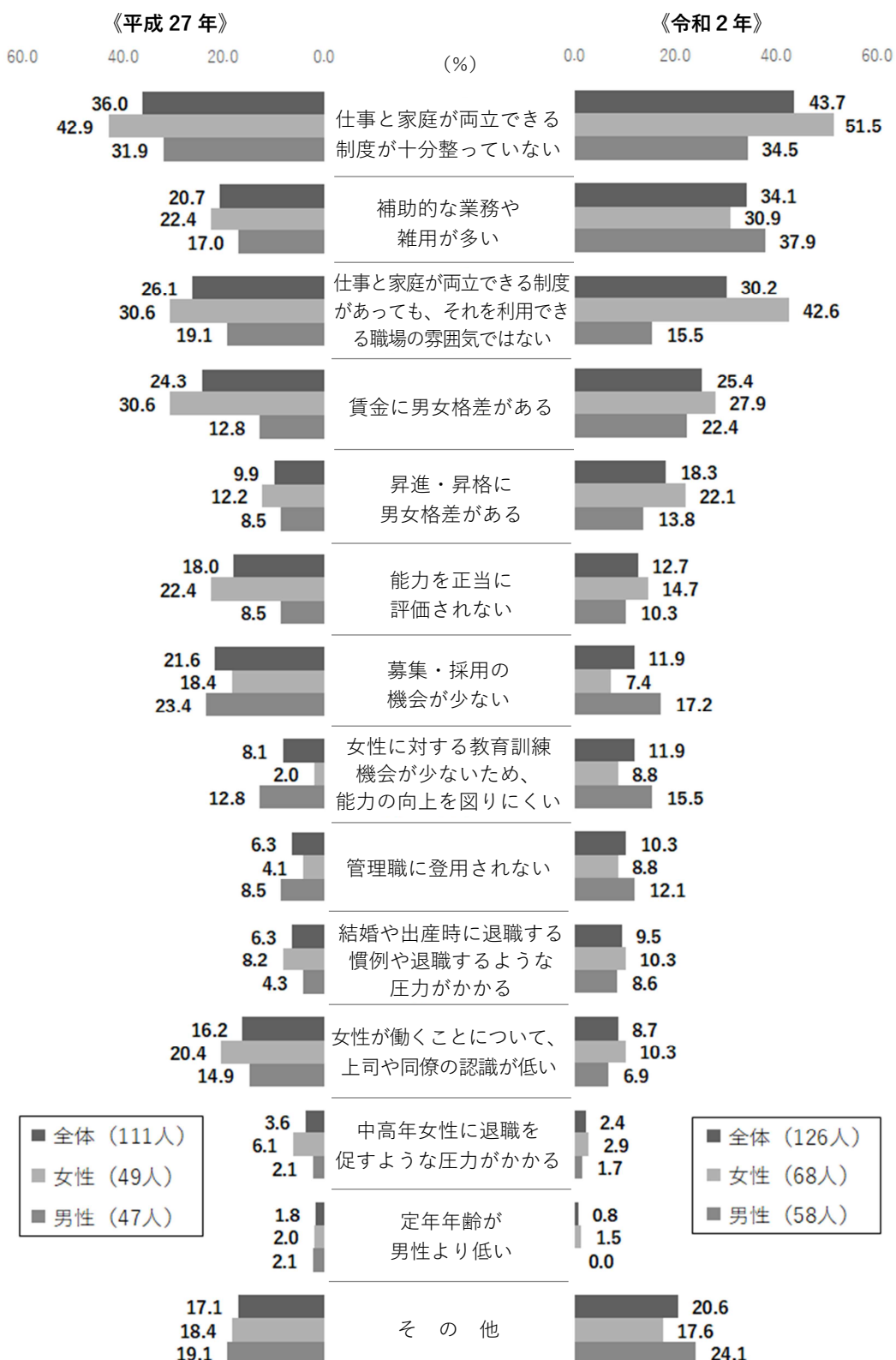
自分の職場は女性にとって働きにくいと回答した人に、その理由をたずねたところ、「仕事と家庭が両立できる制度が十分整っていない」が43.7%と最も高かった。次いで「補助的な業務や雑用が多い」が34.1%、「仕事と家庭が両立できる制度があっても、それを利用できる職場の雰囲気ではない」が30.2%だった。

性別にみると、女性で最も高いのは「仕事と家庭が両立できる制度が十分整っていない」だが、男性では「補助的な業務や雑用が多い」が最も高かった。また、「仕事と家庭が両立できる制度が

あっても、それを利用できる職場の雰囲気ではない」は、女性が42.6%であるのに対し男性は15.5%で27.1ポイントの開きがあり、職場の雰囲気についての男女の認識の違いがうかがえる。

前回調査と比較すると、「募集・採用の機会が少ない」が9.7ポイント減少、「女性が働くことについて、上司や同僚の認識が低い」が7.5ポイント減少しているのに対し、「補助的な業務や雑用が多い」が13.4ポイント増加、「昇進・昇格に男女格差がある」が8.4ポイント増加、「仕事と家庭が両立できる制度が十分整っていない」が7.7ポイント増加となっている。

図II-4-2 女性が働きにくい理由について[全体、性別] (前回調査比較)



「その他」の内容

《女性／20 歳代》

- 小さな子供がいる人のシフトが明らかに他の人より少ない。
- 健康診断の身体内容を個人で聞くのではなくみんなの前で言われた。心が傷つきました。

《女性／30 歳代》

- 仕事と家庭が両立しにくい勤務時間の為
- 非正規職員には産休・育休のような制度や権利がない。
- 仕事内容が男向き。
- 力の面で女性をカバーできていないところが多い。
- 男性のお客さんを警戒しなくてはいけない。

《女性／40 歳代》

- いまだに女性だけ台所当番

《女性／50 歳代》

- サービス残業が多い。異動が遠方の事がある。定刻に仕事が終わらない。
- 10年いても時給が一緒！

《女性／70 歳代以上》

- 農業でわからない。
- 若い者が強い。

《男性／20 歳代》

- 体力的に。

《男性／30 歳代》

- 給与面の低さ
- 力仕事

《男性／40 歳代》

- 力仕事が多々あるから。
- 体力面
- 人間関係
- 女性同士の嫉妬

《男性／50 歳代》

- 仕事内容がキツイ。
- 男性しかできない仕事がある。

《男性／60 歳代》

- 農作業の為体力的に負担が大
- 力仕事が多い。

● 建設業

(3) 女性が働き続けるために必要なことについて

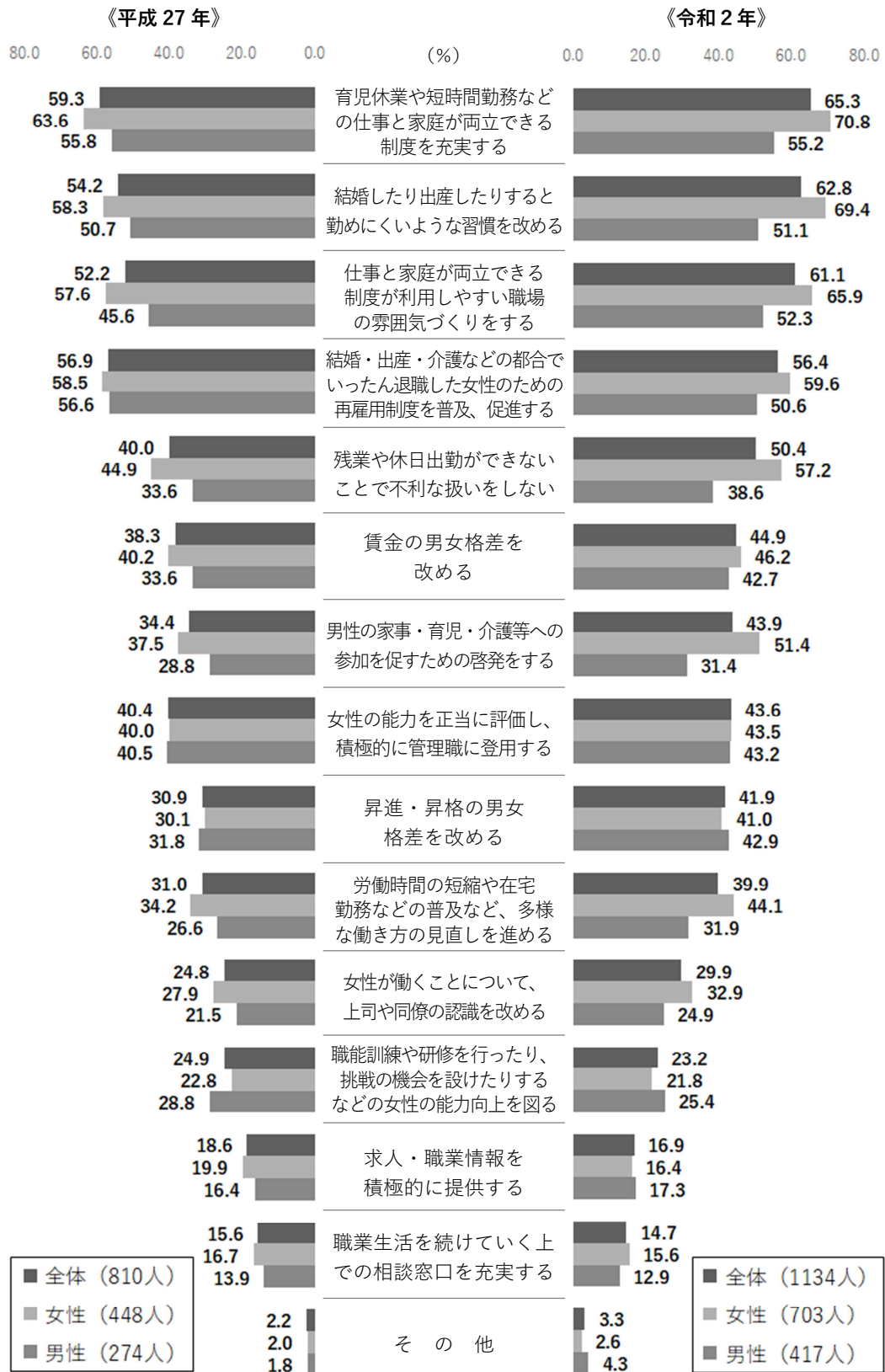
問6 女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思うかたずねたところ、「育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する」が65.3%と最も高く、次いで「結婚したり出産したりすると勤めにくいような習慣を改める」が62.8%、「仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする」が61.1%だった。

性別にみると、「男性の家事・育児・介護等への参加を促すための啓発をする」は、女性が51.4%であるのに対し男性が31.4%で、20.0ポイントの開きがあった。その他、「残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない」は18.6ポイント、「結婚したり出産したりすると勤めにくいような習慣を改める」は18.3ポイント、いずれも女性が男性よりも高く、男女間の認識の違いがみられる。

前回調査と比較すると、どの項目も全体的に割合が高くなっており、とくに「昇進・昇格の男女格差を改める」は11.0ポイント、「残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない」は10.4ポイントと、大きく増加している。

図 II-4-3 女性が働き続けるために必要なことについて[全体、性別] (前回調査比較)



「その他」の内容

《女性／20 歳代》

- 保育施設、保育士の待遇改善による充実
- 男性も子供の看病や育児での休みを取りやすくする。

《女性／30 歳代》

- 男性も育児が出来るよう、収入を保障する。
- 4. 10. は男女関係ない事だと思います。個人の実力を重視するべき。11. はそんな事言わないといけないのが悲しいです。

《女性／40 歳代》

- 子育ての時から親が子供に男女関係なく家事をさせる。
- ⑪にプラスして啓発だけでなく制度の充実化を図る。
- 現在残業せざるをえなくても残業申請しにくい。
- 男性の労働時間を短くする。

《女性／50 歳代》

- サービス残業をなくす。働き方改革
- 上記は女性が働く上で当然の事だと思いますが。
- 職場、家庭だけでなく、近所や周囲の認識も必要
- 土、日、祭日、出勤できる人を時給に差をつけない。
- 総会前土日ほとんど、サービス残業。賃金上げ無し。

《女性／60 歳代》

- まだまだ家事育児介護は女性の仕事として位置付けている人が多い。
- 女性は子育てと家庭という職場があるので、そこを充実していく。
- 皆で協力できる。
- 私の職場は圧倒的に女性が多いので他職種の実態がわからない。

《男性／20 歳代》

- 制度の前に、男女という意識を改める。
- 意識
- 女性だから特別視しろという意識の改善
- 女性の最大の仕事はいい男を捕えていい子供を産むことです。そして男を働かせてお金をもらい、子供に栄養と教育を与える。
- そもそも三田村の任期長すぎ。

《男性／30 歳代》

- 「女性」、「女性のため」という視点こそ差別です。

《男性／40 歳代》

- 若い方は家庭での役割分担できているかもしれないが根本的に家事は女性の仕事と思っている男性には平等に働くということはむずかしいと考える。
- 子育て期間（特に0歳～6歳まで）は急病や急なケガで早退等がいつでも出来るような職場が増えたら良いと思う。

- 人としての能力で判断できる社会の実現。ただし出産は女性しかできないので妊娠中、出産後のフォローができる男性の育成
- 技能があれば男女平等でよいかと。

《男性／50 歳代》

- 1 人の人間として対応する事
- 制度がない時代の方の理解がないと厳しい所はあるかもしれない。
- 扶養控除を見直し、働いた方が得になるようにする。
- 例えば、世帯主の収入だけで生活が出来るよう給与が上がるように。
- 高齢者（パート）の助成をしてほしいです。

《男性／60 歳代》

- 女性を武器にして仕事をしないこと。
- 十分平等です。逆差別にならない様お願いします。
- わからない。

《性別不明》

- 生理休暇を設ける。